

Co-botic™ 1700

スマートで自律的なフルオート業務用ロボット掃除機

ユーザーマニュアル



i-team Japan株式会社

〒103-0027東京都中央区日本橋3-3-5 NS日本橋ビル2F

TEL : 03-6665-0107 FAX : 03-6665-0108





より短時間で

ノンストップで270分間動いていられるから作業が速いし、再充電すれば次回の清掃でまた動ける。



より清潔に

プログラムの作動時間中は作業するが、可能な限り清潔になるよう自分をプログラムすることもできれば、指示に従うこともできる。



より環境にやさしく

できるだけ正確かつ効率的に掃除機をかけられるようプログラムされ、エネルギーを余すところなく清掃に費やし...何も無駄にしない。私が1時間で費やすのが50Wのところ、いくつかの代替品は1000Wも費やしている。



より安全に

ケーブルがないということは、落下の危険性が低減するということです。暗いところで一晩使用しても問題ありません。



皆様にとってよりよいものです

その時間は他のことに振り向ければよいし、熟練した人間の目が衰えずに済む。完了するまで保たれる。細かいところに注力できる。



序文

小さいスペースを迅速に、自律的に清掃するよう設計されたデバイス、Co-botic™ 1700をお選びいただき、ありがとうございます。

Co-botic 1700は、指示しやすく使いやすいです。ユーザーマニュアルをよくお読みください。正しい操作手順と保守手順に慣れてください。マニュアルは安全な場所に保管してください。マニュアルはCo-botic 1700に欠かせないものであり、再販または交換の際には新しい所有者に引き渡さなければなりません。Co-botic 1700ごとに一意のシリアルナンバーが付与されており、本体の底面にあります。部品を注文する際、i-partnerからこの番号を要求されます。

ユーザーマニュアルの目的

ユーザーマニュアルの目的は、Co-botic 1700の使用期間中に、合理的に予見可能な誤用が発生した場合でも、Co-botic 1700が正しく、効率的かつ安全に使用されるよう、ユーザーに情報を提供することです。

ユーザーマニュアルには、次に関する指示を記載しています。

- オペレーター個人の安全性。
- Co-botic 1700で意図されている/意図されていない使用方法。
- 日常での使用方法。
- メンテナンス手順。
- 保管条件。
- Co-botic 1700の廃棄。

ここでの指示は、身体的および/または物質的損傷につながる可能性のあるリスクを回避するため、考慮されなければなりません。

対象者

このユーザーマニュアルは、Co-botic 1700のオペレーターとその監督者のほか、パートナーとi-team Jaapnも対象としています。





Co-botic 1700のオペレーター

Co-botic 1700は、このマニュアルの指示を正しく読んで理解した人、またはこのマニュアルの指示を読んで理解して経験を積んだオペレーターによって訓練された人のみが操作できます。



読み方ガイド

次の記号と用語は、安全上の問題と重要な情報を読者に警告するため、このマニュアル全体で使用されています。

記号	用語	説明
	警告	安全上の指示に従わない場合、オペレーターまたは傍観者の負傷、製品または環境への軽度または中程度の損傷につながる可能性がある危険な状況を示します。
	要注意	安全上の指示に従わない場合、製品または環境への軽度および/または中程度の損傷につながる可能性がある危険な状況を示します。
	バッテリー	バッテリー駆動のマシンを示します。バッテリーは、別冊のClass I Battery Chargerユーザーマニュアルの指示に従って充電する必要があります。バッテリーは、地域の法律および規制に従って廃棄しなければなりません。
	注意	製造元またはそのパートナーおよび関連会社が、不履行によって生じた損傷について責任を負うことができないという責任状況を示します。



コンテンツ

序文.....	3
ユーザーマニュアルの目的.....	3
対象読者.....	3
Co-botic 1700のオペレーター.....	3
読み方ガイド.....	4
1 はじめに.....	7
1.1 製品で意図されている使用方法.....	7
1.2 製品で意図されていない使用方法.....	7
1.3 寿命.....	7
1.4 変更.....	7
1.5 仕様.....	8
1.6 保証.....	8
1.7 識別.....	8
2 説明.....	9
2.1 ボタンとセンサー.....	10
3 より安全に.....	10
3.1 バッテリー.....	11
一般的な注意事項.....	11
健康被害.....	11
4 持ち運びと保管.....	12
5 組み立てと取り付け.....	12
5.1 取り付け.....	12
5.2 充電器ベースの取り付け (標準).....	12
6 操作.....	13
6.1 Co-botic™ 1700をアプリなしで使用.....	14
6.2 Co-botic 1700をアプリによって使用.....	14
6.3 登録とログイン.....	14
6.4 Co-botic™ 1700をネットワークとアプリに接続.....	15
6.5 自分の組織を設定.....	17
6.6 Co-botic 1700を複数のユーザーで共有.....	17



6.7	マッピングとルート	18
6.8	部屋、立ち入り禁止区域、清掃モードを作成	19
6.9	清掃ボタンを使用	21
6.10	その他の機能	21
7	メンテナンス.....	24
7.1	クリーニング	24
7.2	損傷または摩耗したパーツ	24
7.3	メンテナンス頻度	24
7.4	保管	24
8	トラブルシューティング	25
9	廃止措置と廃棄.....	26
10	仕様とCE.....	26



1 はじめに

Co-botic™ 1700は、使いやすく安全なデバイスです。このマニュアルは、使用を開始するのを支援するものであり、操作と保守の手順を説明しています。

バッテリーは使用前にフル充電しておいてください。マシンを充電ステーションに置けばよいのです。

このマニュアルは、Co-botic 1700を使用する方、日常のメンテナンスを行う方を対象としています。使用する前に、マニュアルを全部読んでおく必要があります。このマニュアルでは、正しい使用方法、安全策、保守、持ち運びについて説明しています。

i-teamは、すべての製品をユーザー エクスペリエンスとフィードバックに基づいて改善し続けています。したがって、マニュアルのテキストおよび/または画像と製品との間には、モデルの違いから、または継続的な開発とイノベーションによって起こりうる変更から、相違が生じることがあります。

1.1 製品で意図されている使用方法

Co-botic 1700は、商業環境で小さなスペースを掃除機で掃除するため、特別に開発されています。たとえば、ホテル、学校、病院、工場、店舗、事務所です。屋内の乾燥した環境でのみ使用することを意図したものです。

1.2 製品で意図されていない使用方法



警告

意図されていない方法で使用すると、オペレーターや傍観者の安全性に影響する可能性があるため、製品の保証が無効になります。

1.3 寿命

Co-botic 1700をより長くお使いいただくため、使用後は毎回、洗浄して、損傷がないか確認してください。

1.4 変更

製造元による相談と許可なしに、Co-botic 1700の設計に変更を加えることは許可されていません。これは保証に影響します。セクション1.6を参照してください。



1.5 仕様

モデル:	Co-botic 1700™ (基本)
本体サイズ(長さ x 幅 x 高さ):	350 x 350 x 98 mm
重量 (バッテリーを除く):	該当なし
重量 (バッテリーを含む):	3.4 kg
電源:	220Vドッキングステーション
バッテリー仕様 i-power x:	該当なし
バッテリーの稼働時間:	270 分
充電器タイプ	ドッキング
USB-C充電 (5 V 2 A) 時間:	≒240 分
i-charge 5時間:	該当なし
i-charge 7時間:	該当なし

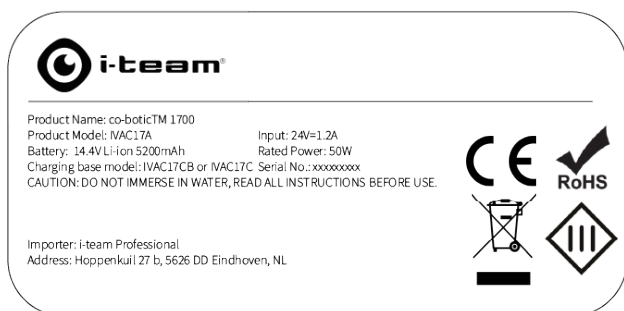
1.6 保証

Co-botic 1700は、このマニュアルで意図され、説明されているとおりにのみ使用してください。それ以外の方法でCo-botic 1700を使用すると、製造元の保証が無効になります。保証期間は1年間です。

1.7 識別

Co-botic 1700ごとに一意のシリアルナンバーが付与されており、本体の底面にあります。部品を注文する際、i-teamからこの番号を要求されます。

型式プレートの説明:



製品タイプ: Co-botic 1700
製品モデル: Co-botic 1700のバージョンに固有
シリアルナンバー: 保証請求に必要な
充電ベースモデル: ご使用のモデルで機能するベース

輸出者:
i-team Professional
Hoppenkuil 27 b
5626 DD Eindhoven
The Netherlands



2 説明

Co-botic™ 1700の構成要素は次のとおりです。

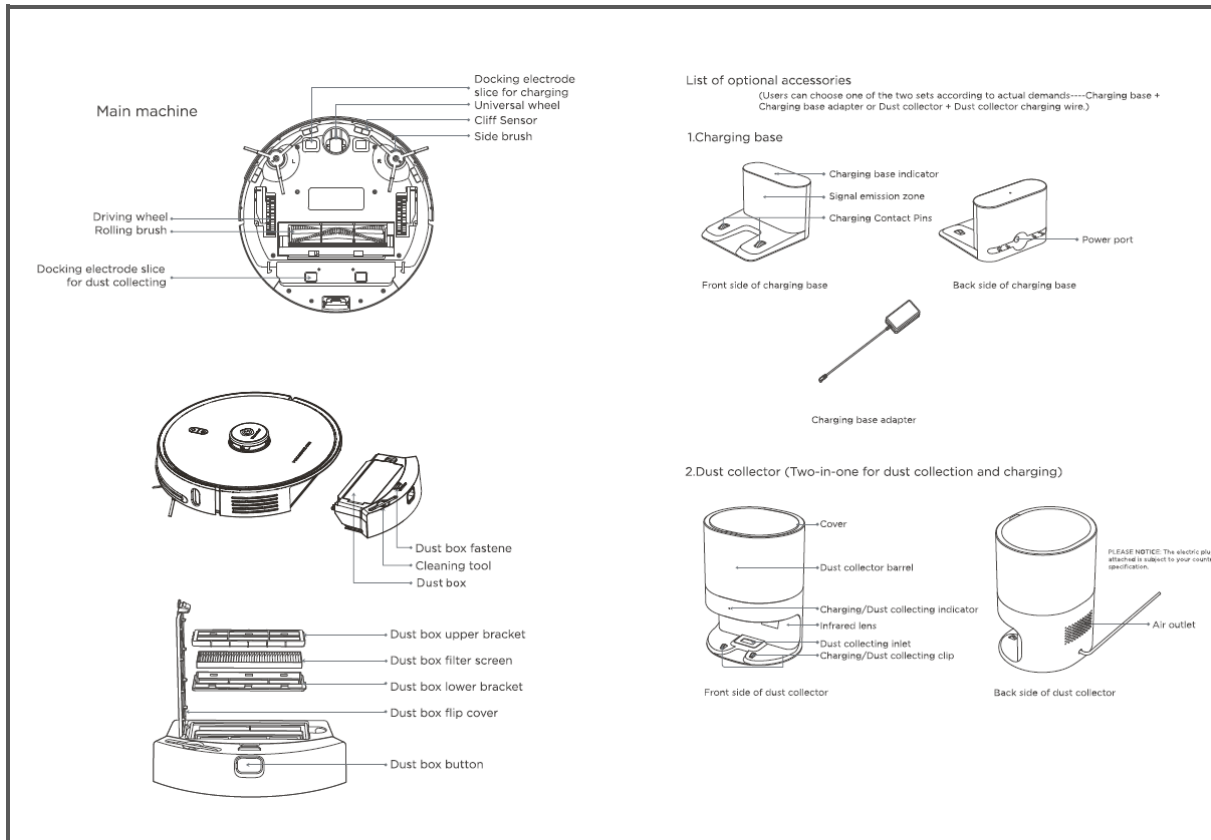


図2

1. メインマシン
2. ダストボックス
3. ダストフィルター
4. 清掃器具
5. サイドブラシ (スペア)
6. リモートコントロール
7. バッテリー
8. 充電ベース
9. 電源ケーブル



2.1 ボタンとセンサー

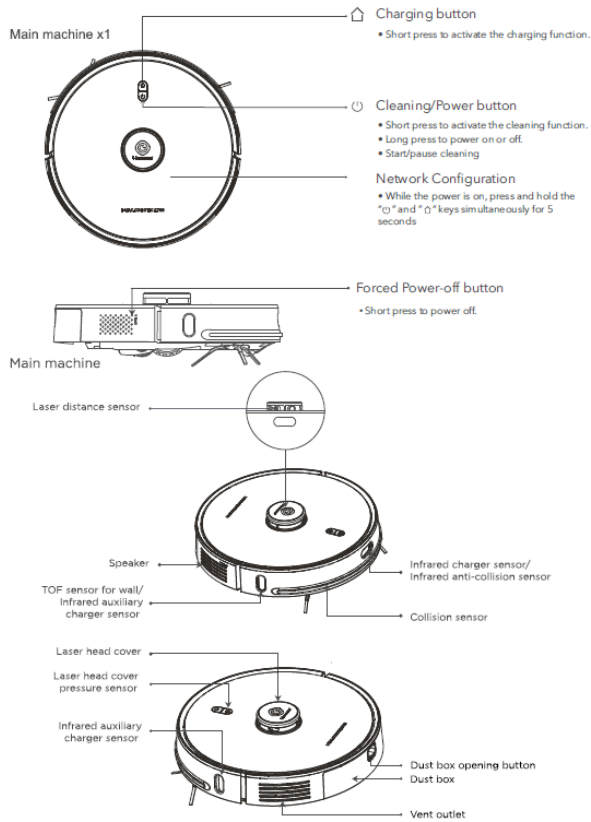


図3

3 より安全に

安全第一です。よって、ここに示す安全上の指示読んで理解するための時間を取ってください。使用方法が不適切だと、損害を引き起こし、製造元の保証を無効にする可能性があります。



警告

Co-botic™ 1700が正常に機能しない場合や、異音がする場合は、**すぐに操作を停止してください**。引き続き操作する前に、Co-botic 1700の点検を行ってください。



警告

Co-botic 1700は、湿った表面や濡れた表面で使用**しないでください**。そうすることは、Co-botic 1700に損傷を与えますし、ユーザーにとっても危険です。濡れた表面で使用したことが原因の損傷は、保証の対象外です。



3.1 バッテリー

一般的な注意事項

要注意



- 気温が40℃を上回るか0℃を下回る環境では使用しない
- 液体や粘性物質のある環境では使用しない
- 子供その他資格のない人にはデバイスを使用させない
- マシンの運転中は吸込口に身体の一部を近づけない
- 燃えているもの (火のついたタバコなど) の清掃には使用しない
- 硬いものや鋭利なもの (ガラス、スチール、釘など) の吸引には使用しない
- Cobotの持ち運びや移動には、ライダーのカバー、マシンのカバー、または耐衝撃バンパーをハンドルとして使用しない
- マシンと充電ベースのクリーニングやメンテナンスをする前には、マシンをシャットダウンする
- 製品のどのパーツも、過度に湿った布や液体で拭かない
- 製品は手順書の指示に従って使用のこと。使用方法が不適切なことによる損失や損傷は、ユーザー自身の責任となる
- 製品の損傷が激しい場合であっても、焼却はしない。内部のバッテリーが爆発することがある

健康被害

警告

バッテリーパックの化学物質にさらされた場合は、次の手順に従ってください。

目 - 目は大量の水で洗い流してください。少なくとも15分間、上下のまぶたを時々開いたままにします。

吸入 - 接触があった場所をすぐに離れ、新鮮な空気のところに行って吸ってください。入手可能であれば酸素を使用してください。



摂取 - その人には少なくともコップ2杯の牛乳または水を飲ませてください。その人に意識がある場合は、嘔吐を促してください。医師の診察を受けさせてください。

- 第三者製のバッテリー、充電器、充電ベースは使用しない
- バッテリーや充電ベースは分解、修理、改造しない
- 充電ベースを熱源 (ラジエーターなど) の近くに置かない
- 機能しなくなったバッテリーは投棄せず、専門のリサイクル施設で処理してもらおう
- マシンの電源線が断線した場合は、すぐに使用を中止する
- 持ち運ぶ/戻す際は、マシンの電源をオフにし、元の梱包材を使用する



4 持ち運びと保管

- Co-botic™ 1700を屋外に保管しない
- Co-botic™ 1700を保管するのは乾燥した場所のみにする
- 該当する場合、Co-botic 1700を再び使用する前にバッテリーをフル充電にする

5 組み立てと取り付け

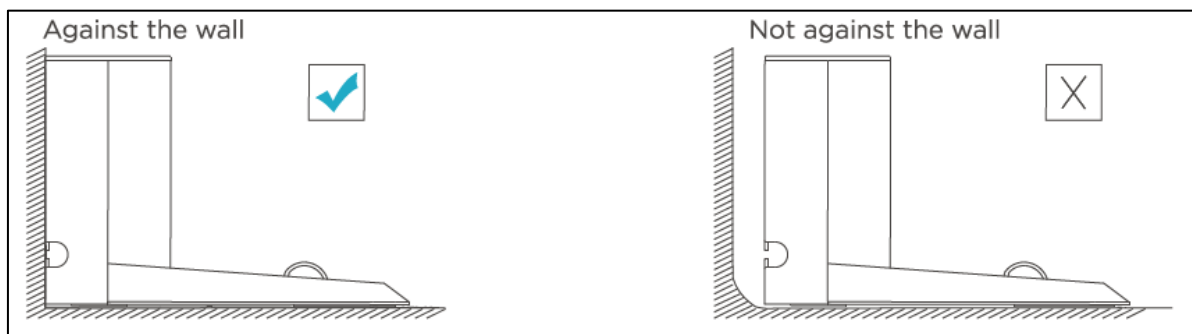
Co-botic 1700は組み立て不要です。Co-botic 1700とは、標準のドッキングステーション (付属) または自動ゴミ処理システム (別売) を併用してください。標準のドッキングステーションでは、cobotの集塵容器そのものをユーザーが定期的に空にする必要があります。自動ゴミ処理システムを使用する場合は、cobotが容器の中のゴミを大きなゴミ袋に空けます。その頻度はアプリで変更することができます。

5.1 取り付け

Co-botic 1700には、USBケーブルとコンセントが同梱されています。まず取り外す必要があるのは、フロントバンパーとメイン装置との間の梱包材です。

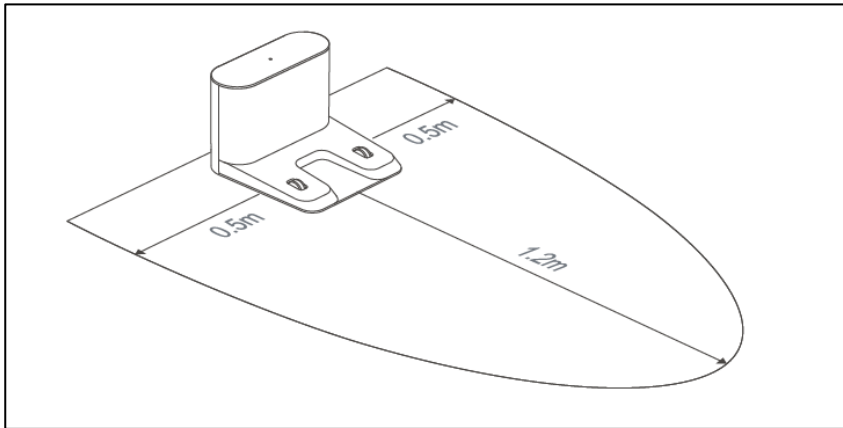
5.2 充電器ベースの取り付け (標準)

1. 充電器ベースは、隙間がないよう、壁に平らに置く




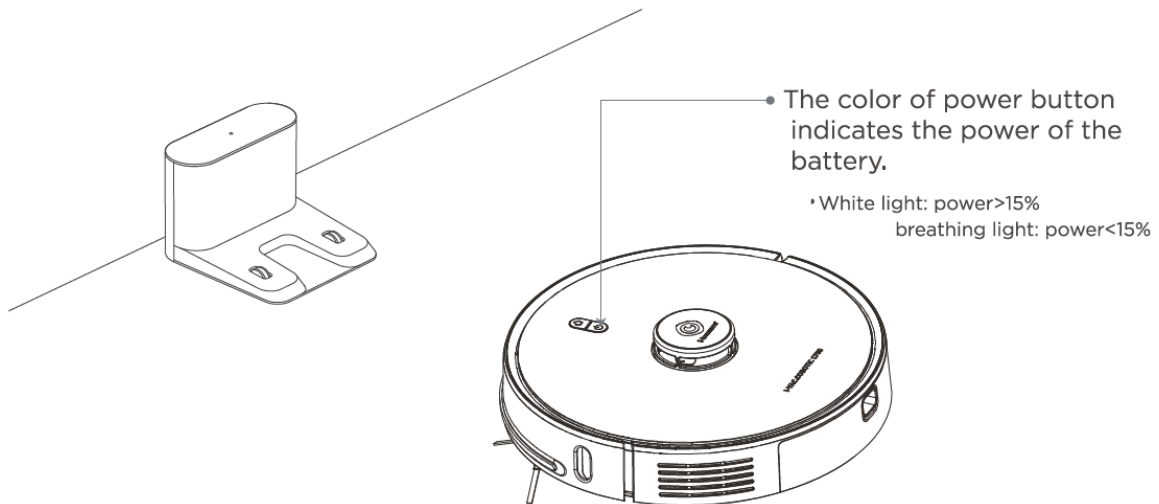


2. 充電器の前面には空きスペースを1.2メートル以上、側面には0.5メートル以上確保してください。



6 操作

1. Co-botic™ 1700を充電器ベースの前の床に置く
2. 電源ボタンを長く押す
3. cobotは充電ベースを見つけて充電を開始する



Note: When the power is insufficient, it may not be able to turn on. Please dock the machine on the charging clip of the charging base. The orange light of the power button will be always on when charging.



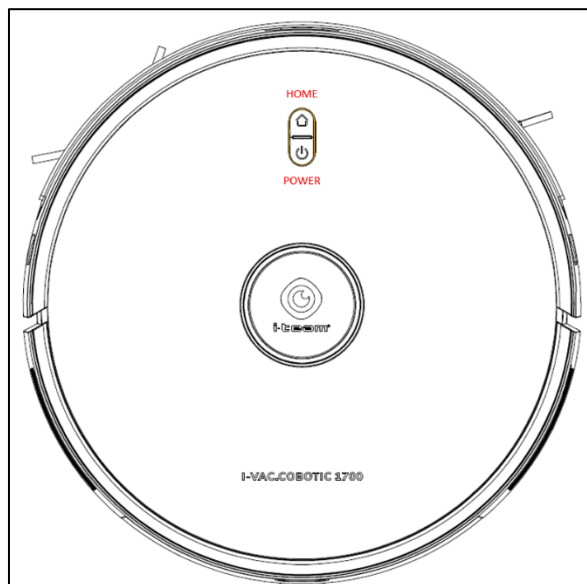
注意

Co-botic 1700を初めて使用するときは、バッテリーをフル充電にします。



6.1 Co-botic™ 1700をアプリなしで使用

1. 電源ボタンを押す
2. Co-botic 1700は設置されたスペースで清掃を開始
3. 清掃をする間、スペースのマップの作成を自動でして、後でアプリで使用できるようにします。
4. 清掃を終えたcobotは、充電ベースへ戻ります。
5. 注: ホテルバージョンのソフトウェアがデバイスにインストールされている場合、cobotはベースに戻るのではなく、最初に起動したポジションに戻ります。
6. cobotがベースに戻るよう手動で指示するにはホームボタンを押す



6.2 Co-botic 1700をアプリによって使用

Co-botic 1700をアプリによって使用することで、次のことができるようになります。

- スペースをマッピングしてルーティングする
- 部屋と立ち入り禁止区域とを分ける
- 清掃による結果を表示する
- 清掃全体の統計を確認する
- スペースとcobotを複数追加する
- 他のユーザーをcobotに追加する
- 消耗品のレベルを確認する
- エラーメッセージを見る

6.3 登録とログイン

1. 「Co-botic」アプリをApple StoreまたはGoogle Playストアからダウンロードします。ストアで検索を実行するか、次のQRコードをスキャンします。

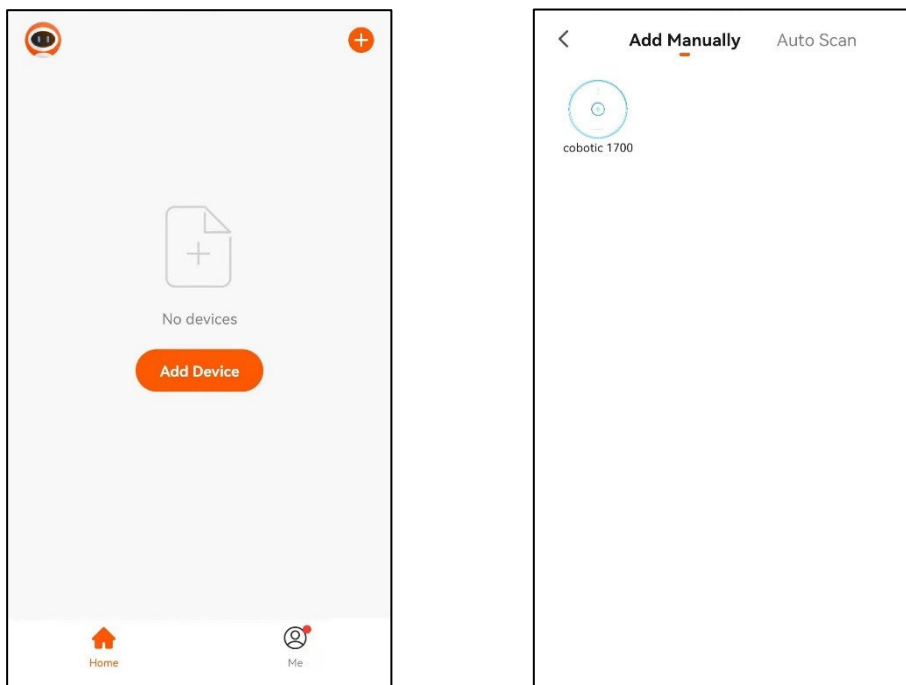


2. 新しいアカウントにメールアドレスを登録 (既にアカウントがある場合は、手順2と3をスキップ)
3. お客様の国を選択
4. 新しいアカウントでアプリにログイン
5. これは「プロファイル」となり、後で複数のマシンに接続するためのもの

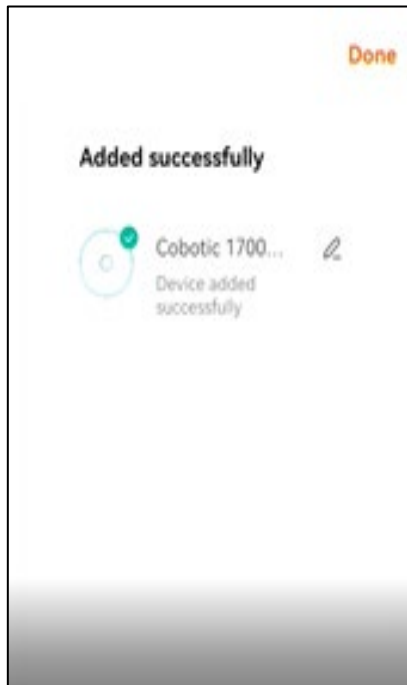
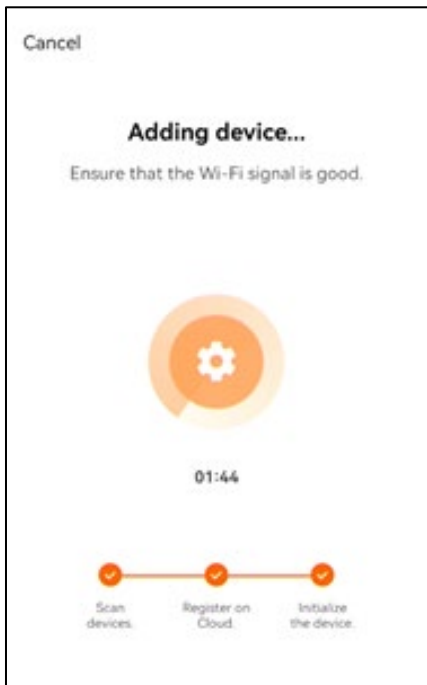
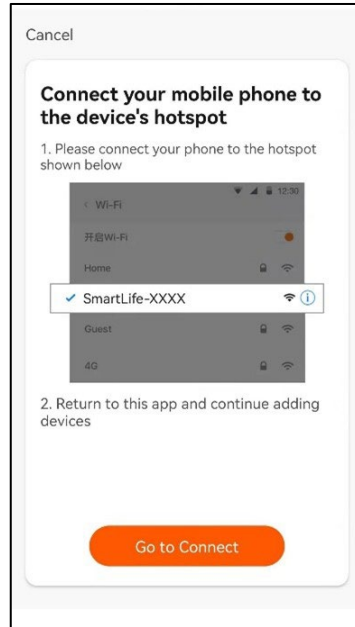
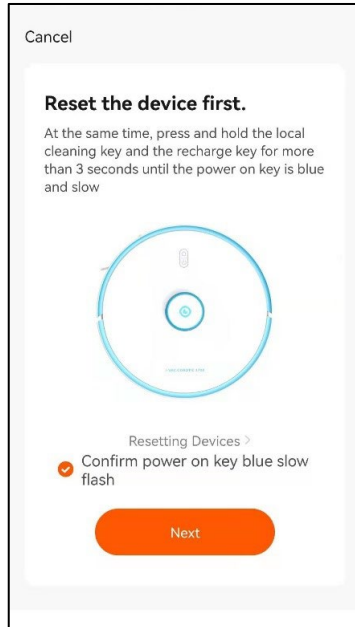
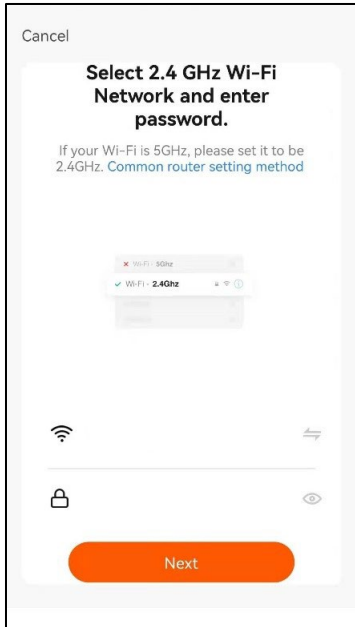


6.4 Co-botic™ 1700をネットワークとアプリに接続

1. デバイスの電源をオンにします。
2. 「電源」ボタンが青色で点滅していれば、マシンは接続準備完了です。
3. 点滅していない場合は、「ホーム」ボタンと「電源」ボタンを同時に3-5秒程度押しします。cobotから「WiFiコネクションリセット」との音がします。
4. モバイルデバイスには2.4Ghzワイヤレスネットワークへの接続を確保します。
(現在、5Ghzワイヤレスネットワークはサポートしていません)
5. アプリで「デバイスを追加」を選択します。
6. 「Co-botic 1700」デバイス。を選択します。



7. 自分のワイヤレスネットワークをリストから選択し、パスワードを入力します。
8. もう一度、Co-botic 1700デバイスの「電源」ライトが青色で点滅するようにしてから、「キーが青色でゆっくり点滅することで電源を確認する」のボックスにチェックマークを付けます。
9. ネットワーク「Smartlife-xxxxxxx」を選択して、co-botic 1700のワイヤレスネットワークに接続します。
10. そうすると、アプリではcobotのネットワークへの接続を開始します。
11. 完了したら「完了」をクリックします。これで接続は正常です。

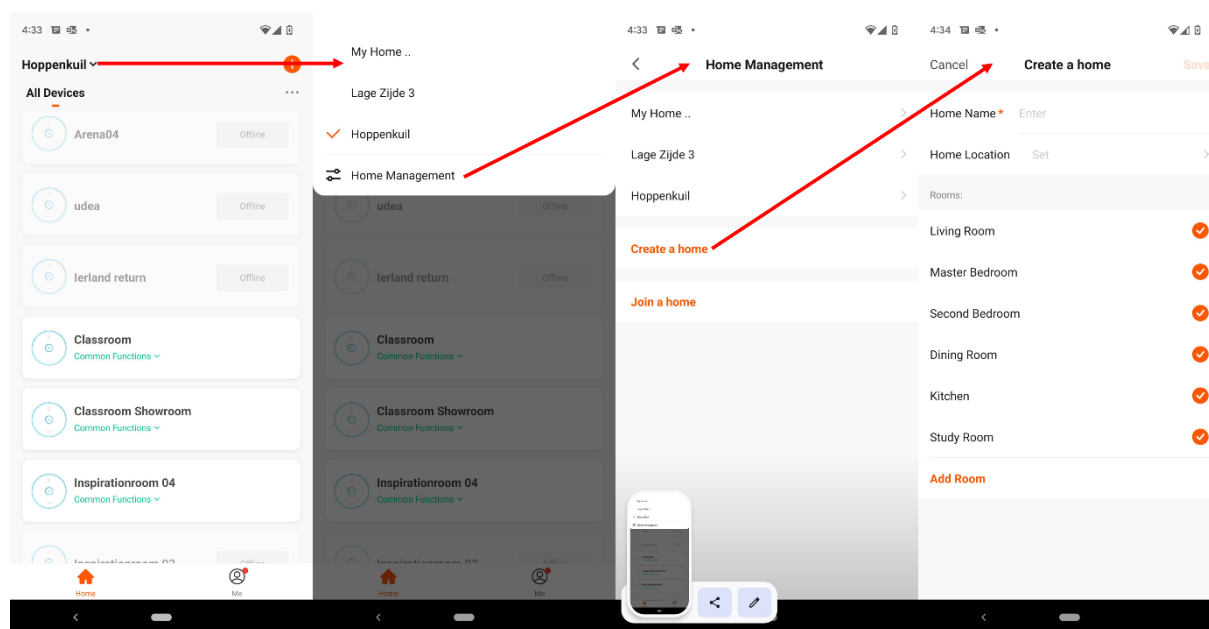




6.5 自分の組織を設定

Co-botic™ 1700は、組織の複数の建物、部屋、cobotに配置できます。組織をどのように設定するかは、cobotがどこにあるか、どのように機能しているかを特定するために重要です。

1. ホーム画面で、左上隅のドロップダウンメニューを押して、既存の構造を開きます。
2. 「ホーム管理」を選択します。
3. この画面からは、既に追加されている複数の異なった家や建物を確認したり、「新しいホームを作成」を選択して新しい場所を追加したりできます。ご自分の場所は、標準的な住所による物理的な場所に基づくようにしてください。
4. 場所の名前と住所を入力します。
5. その下には、その場所ですでに標準となっている部屋が表示されます。組織構造に合わないものがある場合は、そのチェックを外して、代わりに「部屋を追加」を選択します。
6. 場所内の部屋に名前を付けます。これは、Co-botic 1700によって清掃する部屋ごとに繰り返します。
7. 新しいデバイスを組織に追加するときは、デバイスが割り当てられている正しい場所と部屋に追加するようにしてください。



自分の組織を設定

6.6 Co-botic 1700を複数のユーザーで共有

複数のユーザーを設定する場合、ユーザーが個々人の電話で作成され、マシンへのアクセスを共有できるよう注意することが重要です。ユーザーアカウントは、マシンやアプリには保存されません。ユーザーデータはクラウドに保存され、各ユーザーは1つの部屋を共有することも、組織全体を共有することもできます。

1. 各ユーザーは、自分のアカウントを自分のアプリに設定する必要があります (このユーザーマニュアルのセクション6.2~6.3を参照)。
2. ある場所/建物にあるすべてのマシンを共有するには、組織へのアクセス権が既に付与されている元のアカウントから開始する必要があります。

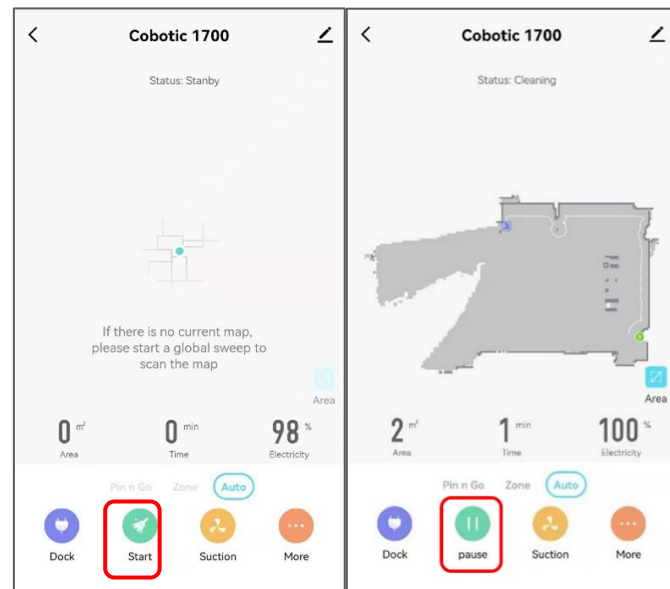


3. ホーム画面から、画面の左上隅にある場所のドロップダウンを選択します。
4. 「ホーム管理」を選択します。
5. 共有する場所または建物を選択します。
6. 「メンバーを追加」を押します。
7. ダイアログが開き、コードを組織の他のユーザーと共有できるようになります。
8. このコードは、さまざまなメッセージングアプリを介して、複数の方法で共有できます。また、コードをコピーして正しい相手に送信することもできます。
9. コードを受け取ったユーザーは、アプリにログインし、「ホーム管理」画面に戻ってください (手順3~5を参照)。
10. 「ホーム管理」画面で、「ホームに参加」を選択します。
11. 手順7のコードを入力します。

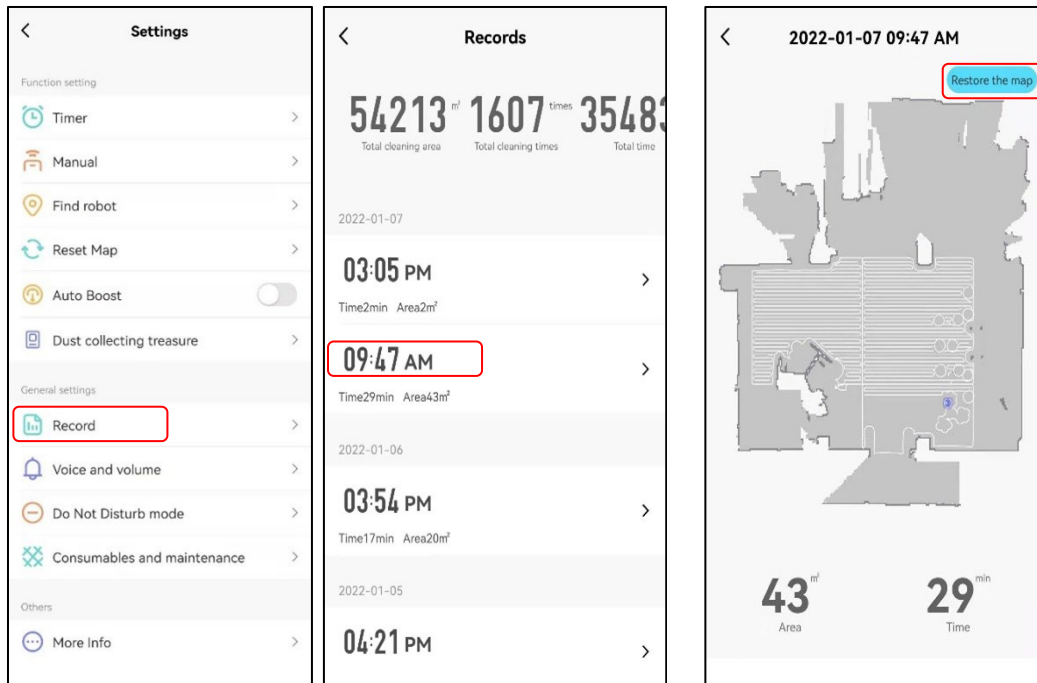
6.7 マッピングとルート

Co-botic™ 1700がスペース中を移動するにつれて、独自のマップが作成されます。マッピングは、手動モードでボタンを押したとき、またはアプリから起動したときに行われます。マップはcobotに保存され、必要に応じて、アプリによってcobotからアクセスされます。

1. 緑のスタートボタンを押すと、一時停止ボタンに変わります。これにより、cobotではマップの生成を開始します。
2. cobotでは、マッピングをする間に清掃を開始し、今後の清掃方法のロジックの構築も開始します。
3. 完了すると、その後も毎回その方法で清掃します。
4. 好ましい清掃パターンがある場合は、「記録」機能を使用してパターンを表示して実行し、過去の清掃とマップを探ることもできます。
5. 記録機能を使用するには、「その他」を押します。
6. 「記録」を選択します。
7. 目的とする日時を選択します。
8. 「マップを復元」を押します。
9. cobotでは、このマップとルートをロードして、同じ清掃手順を実行します。



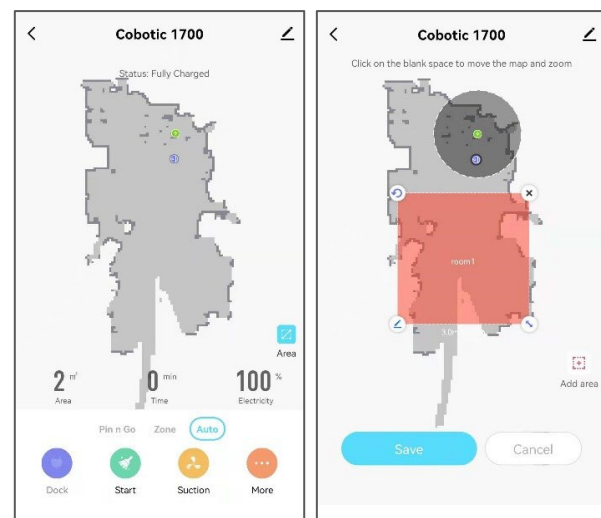
マッピング進行中



6.8 部屋、立ち入り禁止区域、清掃モードを作成

ゾーンを使用するには、3つの操作モードを把握することが重要です。ピンアンドゴー、ゾーン、自動です。

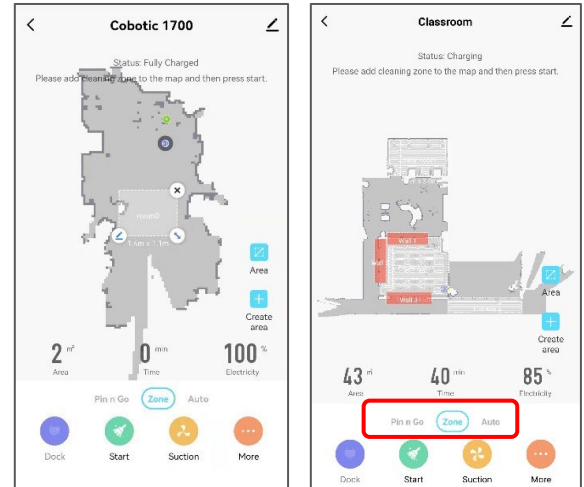
1. 立ち入り禁止区域を作成するには、次のようにします。
 - a. 使用するマップを開きます。
 - b. 画面右側の「面積」ボタンを選択します。
 - c. 「面積を追加」を選択します。
 - d. cobotに清掃させない面積を囲う四角形をドラッグします。これが特に有用になるのは、cobotを通過させない出入口です。
 - e. この画面からは、ゾーンのサイズ変更、回転、削除を行うことができます。
 - f. ゾーンを保存します。
2. 清掃する部屋を作成するには、次のようにします。



立ち入り禁止区域を作成



- a. 使用するマップを開きます。注:複数の部屋を設定するには、部屋と部屋に通じる廊下をすべて含めて、スペース全体をマッピングするようにしてください。
 - b. マップの下にある「ゾーン」ボタンを選択します。
 - c. 右側の「面積を作成」ボタンを選択します。
 - d. 目的とする部屋の図形をドラッグします。
 - e. 図形の左下隅にある鉛筆アイコンを使用して、部屋に名前を付けます。
 - f. 「開始」を押して部屋を保存します。
 - g. 注:この画面で「面積」ボタンを選択すると、立ち入り禁止区域を作成するのと同じように機能しますが、ここで立ち入り禁止区域を作成すると、ゾーンの清掃にも使用されます。
 - h. 注:ネットワークの遅延により、部屋や立ち入り禁止区域がすぐに表示されない場合があります。マップをロードゾーンを表示する際は、最大30秒待機してください。
3. 清掃機能はモード別で次のようになります。
 - a. 自動 - cobotは、充電ステーションで開始してマップ全体を清掃します。
 - b. ゾーン - cobotは、作成されているゾーンのみを清掃します。充電器に最も近いゾーンで清掃を開始し、充電器のある部屋で清掃を終了します。ゾーンを選択して開始を押すことで、直接そのゾーンへ移動させることもできます。
 - c. ピンアンドゴー - cobotでは、マップで選択したとおりの場所を清掃します。そのスポットへ移動して、スポットの半径1.5メートルを清掃します。

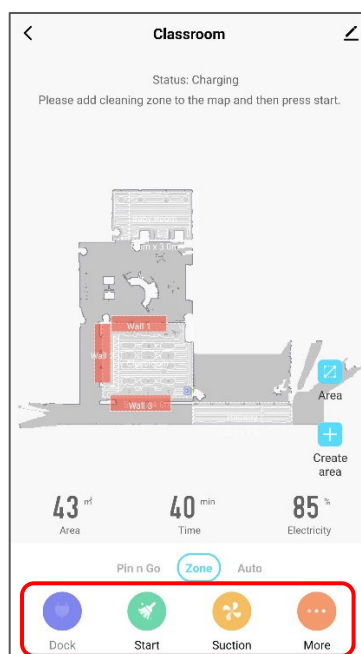


部屋を作成してモードを選択



6.9 清掃ボタンを使用

- 画面下部のボタンについての説明を次に示します。
 - ドック - cobotを充電ベースへ戻します。このボタンをもう一度押すと、プロセスを一時停止できます。
 - 開始 - 選択されたモード (ピンアンドゴー、ゾーン、または自動) に基づいて、清掃プロセスを開始します。
 - 吸引 - 掃除機のモーターの電源を制御します。この設定では、床のタイプに応じて自動的に調整を行い、最適な清掃が行われるようにします。
 - その他 - このマニュアルで説明されているその他の機能にアクセスします。

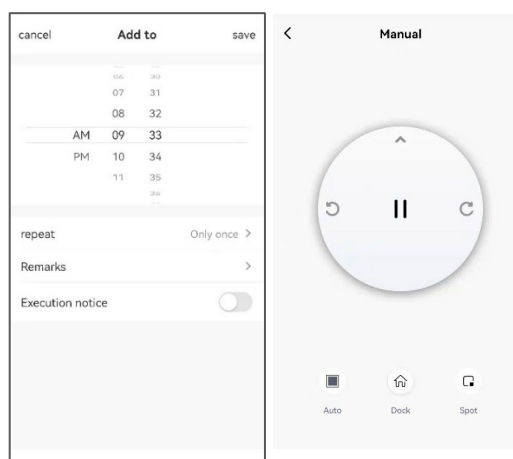


清掃ボタン

6.10 その他の機能

次の機能は、「その他」ボタンの下にあります。

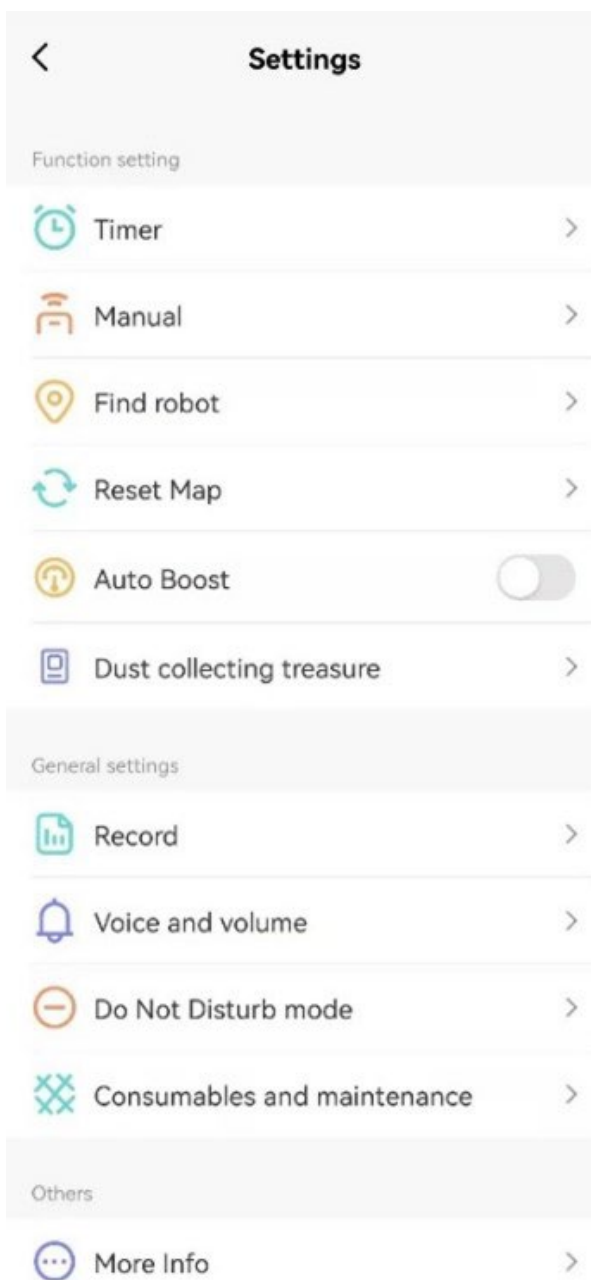
- 清掃スケジュール設定
 - 「タイマー」を選択します。
 - 清掃をスケジュールする日付と時刻、通知を受け取るかどうかを設定します。
- 手動制御
 - これにより、cobotを手動で動かすことができます。
 - 注:ネットワークの遅延により、動作ボタンを押してからcobotが実際に動作するまで、かなりの遅延が生じる場合があります。手動で制御する場合は、cobotに付属の赤外線リモコンを使用することをお勧めします。



スケジュール設定と手動制御



3. ロボットを探す
 - a. この機能により、cobotが自分の場所のどこにあるかがわかります。
 - b. 「Hey! I'm over here!」という声がします。
4. マップをリセット
 - a. これにより、マップのコンテンツが削除され、新たに開始されます。
5. オートブースト
 - a. このオプションでは、掃除機を床のタイプに応じて自動調整できます。吸引レベルを手動で制御するには、これをオフにします。
6. 集塵トレジャー
 - a. このオプションには、自動ゴミ処理装置があることを必要とします。
 - b. このオプションでは、cobotが中のゴミを自動ゴミ処理装置に空ける頻度を選択します (オプション)。
7. 記録
 - a. このオプションでは、稼働時間や範囲 (平方メートル) を含め、cobotの清掃記録を表示します。
8. 声と音量
 - a. このオプションでは、音圧レベルを調整します。
9. おやすみモード
 - a. このオプションでは、部屋にいる人の邪魔をしないよう、cobotが実行されない時間を設定します。
10. 消耗品とメンテナンス
 - a. このオプションにより、フィルター、集塵機、ローラーブラシのレベルを確認できます。

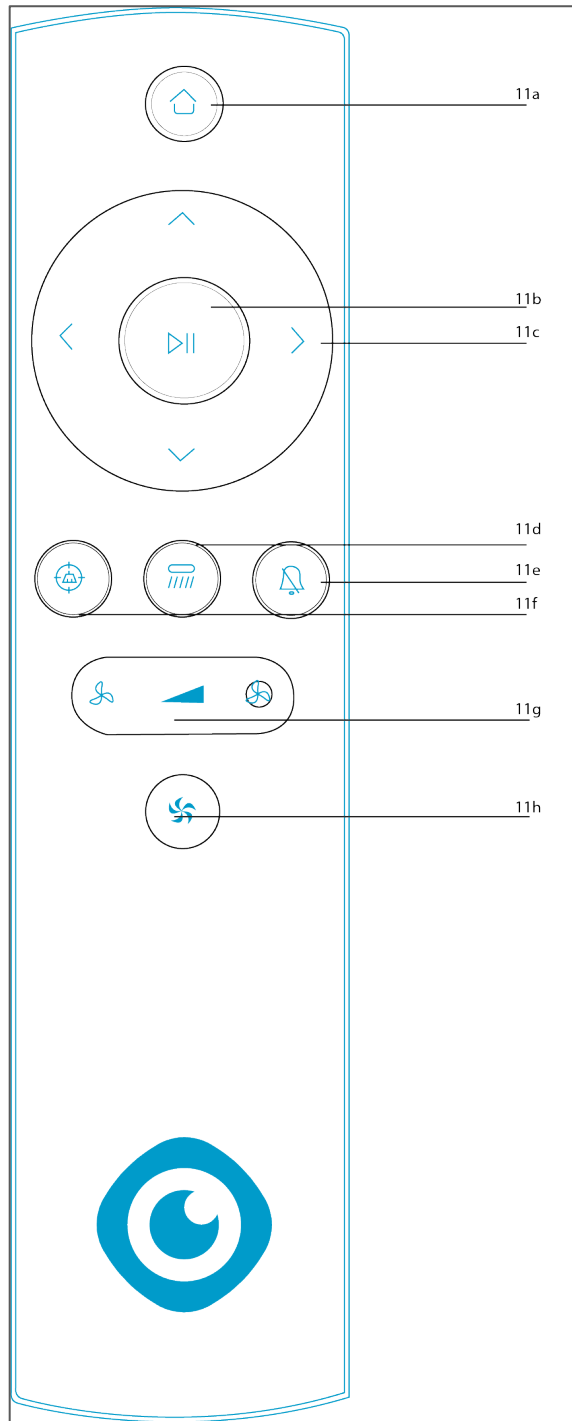


「その他」メニュー



11 リモートコントロールを使用

- a. Co-botic 1700がアクティブな場合は、ホームボタンを押します。11a.マシンがドッキングステーションに戻ります。
- b. リモートコントロール機能をアクティブにします。
- c. 矢印を押して、前後左右に移動します。
- d. 自動清掃を開始します。
- e. 音声をオフにします。
- f. セクション清掃を開始します。自律的に清掃を開始しますが、部屋を4x4 m2のセクションに分割します。
- g. 吸引レベルをQuiet/標準モードから強力モードまで調整します。
- h. このボタンを押すと、すぐに強力モードに切り替わります。たとえば、カーペットの床に切り替えるときに適したモードです。



リモートコントロール



7 メンテナンス



警告

メンテナンスや部品交換を始める前に、**Co-botic™ 1700の電源を切り、バッテリーを取り外します (該当する場合)。**

Co-botic 1700はあまりメンテナンスを必要としません。ただし、マシンを使用した後、保管する前には、マシンのクリーニングをすることをお勧めします。クリーニングは、乾いたマイクロファイバークロスで拭くだけです。クロスは濡らさないでください。

Co-botic 1700を適切に機能させ、長く使えるようにするためには、このマニュアルに記載されている推奨メンテナンス間隔に従うことが重要です。

このマニュアルに記載されていないメンテナンスは、Co-botic 1700パートナーに行わせてください。パートナーにお電話いただく際は、Co-botic 1700のモデルとシリアルナンバーを確かにしてください。詳細については、www.i-teamglobal.comの連絡先フォームに記入して取得してください。

7.1 クリーニング

マシンの外側のクリーニングには、乾いたマイクロファイバークロスを使用します。クリフ検知センサーを乾いたマイクロファイバークロスでふき取り、ブロックされないようにします。集塵容器は毎日空にし、ローラーのクリーニングは付属のブラシとヘアカッティングツール (集塵容器の外側アセンブリにあります) で行います。エアフィルターは、付属のブラシを使用して、毎日掃除します。

7.2 損傷または摩耗したパーツ

損傷または摩耗した部品は、直ちに交換する必要があります。詳細については、最寄りのi-teamグローバルパートナーまでお問い合わせいただくか、www.i-teamglobal.comにアクセスしてください。

7.3 メンテナンス頻度

Co-botic 1700の耐用年数が過ぎるまで適切かつ安全な操作を確保するためには、最初の50時間の使用后、その後125時間ごとに、i-team認定パートナーにマシンを点検してもらうことをお勧めします。

7.4 保管

セクション4を参照してください。



8 トラブルシューティング

障害コード一覧:

dp_robot_fault_1	バッテリー残量少、充電開始
dp_robot_fault_2	バッテリー残量少、シャットダウン
dp_robot_fault_3	駆動輪/ユニバーサルホイール/メインホイールの異常
dp_robot_fault_4	アップグレード条件を満たしていません。充電してください
dp_robot_fault_5	衝突センサーの異常
dp_robot_fault_6	指定したエリアに到達できません
dp_robot_fault_7	マシンが傾いています
dp_robot_fault_8	レーダーカバーが引っかかっています/ レーザーヘッドカバーが引っかかっています
dp_robot_fault_9	レーダー速度の異常/レーザー距離センサー速度の異常
dp_robot_fault_10	レーダーデータに異常があります/異常なセンサーデータが記録されました
dp_robot_fault_11	壁面検査センサーが汚れています/壁用TOFセンサーが汚れています
dp_robot_fault_12	センサーが壁に沿って汚れています/赤外線衝突防止センサーが汚れています
dp_robot_fault_13	ミドルブラシ/ローリングブラシまたはメインブラシの異常
dp_robot_fault_14	サイドブラシの異常
dp_robot_fault_15	ファンの異常/排気口の異常
dp_robot_fault_16	ダストボックスが取り外されて/取り出されています
dp_robot_fault_17	ダストボックスが満杯です
dp_robot_fault_18	ダストボックスが取り出されていると動きません/ダストボックスが取り外されていると動きません
dp_robot_fault_19	ダストボックスは満杯だと取り出されます/ダストボックスが満杯ですので取り外してください
dp_robot_fault_20	マシンが引っかかって/閉じ込められています。マシンが引っかかった場所を禁止区域/立ち入り禁止ゾーンに設定することをお勧めします
dp_robot_fault_21	作動中にピックアップされています/マシンが作動中に持ち上げられています
dp_robot_fault_22	清水タンクがありません
dp_robot_fault_23	水の量が不十分なので、水を足してください
dp_robot_fault_24	制限エリアから離れて、再度起動してください
dp_robot_fault_25	所有者にクリフセンサーを拭くよう依頼し、クリフから離れて起動します
dp_robot_fault_26	再充電に失敗しました
dp_robot_fault_27	充電に失敗しました
dp_robot_fault_28	メインホイール/駆動輪の異常
dp_robot_fault_29	レーダーの異常/レーダー/レーザー距離センサーの異常
dp_robot_fault_30	ポンプの異常/水ポンプの異常



9 廃止措置と廃棄



注意

製品を適切かつ安全に廃棄することは、Co-botic™ 1700所有者の責任です。

Co-botic 1700の耐用年数が過ぎても貴重な資源が含まれているため、電気機器のリサイクルに関する地域の法律および規制に従って廃棄する必要があります。



1. 該当する場合は、バッテリーを取り外して分別廃棄します (セクション5.4を参照)。
2. 緩んでいるコンポーネントはすべて取り外します。
3. すべての品目は、地域の法律および規制に従って廃棄してください。

ヒント:

Co-botic 1700の耐用年数が過ぎたときにコンポーネントを返却するためのあらゆる可能性を探るには、最寄りのi-teamパートナーまでお問い合わせください。

10 仕様とCE

モデル:	Co-botic™ 1700 (基本)
本体サイズ(長さ x 幅 x 高さ):	350 x 350 x 98 mm
重量 (バッテリーを除く):	該当なし
重量 (バッテリーを含む):	3.4 kg
電源:	220Vドッキングステーション
バッテリー仕様 i-power x:	該当なし
バッテリーの稼働時間:	270 分
充電器タイプ	ドッキング
USB-C充電 (5 V 2 A) 時間:	≒240 分
i-charge 5時間:	該当なし
i-charge 7時間:	該当なし



EG/EC
DECLARATION OF CONFORMITY

We: Future Cleaning Technologies B.V., Hoppenkuil 27b, 5626 DD Eindhoven, Netherlands

Declare under our sole responsibility that the product: Vacuum cleaner

Co-botic

(Type of machine)

**Co-botic 1700, IVAC17.FCT.0230A, IVAC17.FCT.0230C, IVAC17.FCT.0240A, IVAC17.FCT.0240C, IVAC17A
and following**

(Model – serial number, year of production)

to which this declaration relates is in conformity with the following standards,

**IEC 60335-2-2:2019; IEC 60335-1:2010+A1+A2 COR1:2010, COR2:2010, AMD1:2013, COR1:2014,
AMD2:2016, COR1:2016**

(Title and/or number and data of issue of the standard(s) or other normative document(s))

follow the provision of directives:

EMC 2014/30/EU, Machinery 2006/42/EU, ROHS 2011/65/EU, EU 2015/836 Annex II

Eindhoven, 15.02.2022

Frank van de Ven
Director

(Place and Date of issue)

(name and signature or equivalent marking
or authorized person)

Future Cleaning Technologies B.V. | Hoppenkuil 27 B | 5626 DD | Eindhoven | NL | T +31 (0)40 266 2450 KvK 17170863 | VAT no. NL813934023B01 Rabobank
| Swift: RABONL2U | Eur no. 1089.72.984 | IBAN NL04RABO0108972984 | USD no. 1089.72.984 | IBAN NL04RABO0108972984

このドキュメントはCo-botic 1700のテクニカルファイルの一部であり、要望に応じて入手可能となります。



i-Story

清掃マシンのことだけではありません。

人と地球の幸福についての話です。

当社は清掃に入れ込み、持続可能性にわくわくし、イノベーションを続けることに尽力しています。

効果的な清掃は「単なる」汚れの除去に留まらないと考えます。仕事をより容易に、シンプルに、かつ効率的にし、そしてさらに楽しみながら、人々の健康と安全を確保するという事です。世界を守りながら、世界で一貫した成果を得ることを意味します。そして、より良い清掃のために、当社のグローバルな力を拡大するためのパートナーシップを築くことを意味します。結局のところ、チームで行うことが必要です。

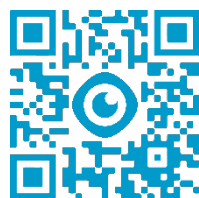
それがi-teamです。

Made Blue

i-mopを利用することで、パートナー、顧客、ユーザーはウォーターフットプリントを削減し、世界の水の可用性に大きく貢献することができます。毎日i-mopをオンにすると同時に、Made Blueは地球上の他の誰かがきれいな水にアクセスできるようにします。i-mopの操作で使用される1リットルごとに、i-teamとMade Blueは発展途上国のきれいな飲料水に反映します。地球とは、70億人を超える人々が暮らす美しい場所です。人間が生き、呼吸し、人生を楽しむためには、水が必要です。全世界で27億人が飲料水の不足に悩まされています。この状況は、7億8,000万人にとっては永続的です。このために、毎年350万人が亡くなっています。Made Blueが開発途上国のプロジェクトに投資する理由となっています。当社はMade blueのパートナーであることを誇りに思います。Made Blueでは、開発途上国できれいな水を作るためにi-teamが使用する水を反映しています。1リットルごとに1リットルです。



MADE BLUE



きれいな水へのアクセスを **すべての人に。**